

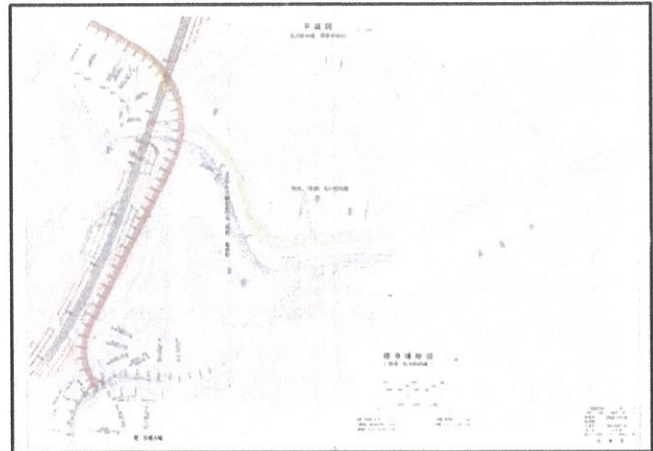
▽主催:復興みなさん会、宮城大学地域連携センター
▽共催:すばらしい歌津をつくる協議会、復興まちづくり推進協議会
※記載内容に関するお問い合わせ: 及川清孝(090-6227-0608)

南三陸町では住居の高台移転に加え、堤防建設や道路整備など、様々な分野の復興事業が進められています。南三陸の歴史・風土に根ざした復興を成し遂げるためには、住民が正確な情報を持ち、考え、議論する場が必要であると私たちは考え「復興てらこ屋」を開催しております。

2月21日(木)に開催した第3回復興てらこ屋(伊里前地区)「伊里前地区の道路について考えよう」では、宮城県気仙沼土木事務所の方にお越しいただき、現在進められている伊里前地区の県道整備計画について話題提供を頂いた後、参加者同士で伊里前地区の道路について意見交換を行いました。住民約20名や南三陸町建設課が参加し、活発な意見交換が行われました。

1. 伊里前地区の県道整備計画について(話題提供)

宮城県気仙沼土木事務所の方にお越し頂き、伊里前地区の県道(町向弘川線)の整備計画についてご説明頂きました。



- ・伊里前川の堤防が8.7mの高さで整備される。伊里前川とその堤防を越えるルートとして計画されている。
- ・三陸自動車道と並走し、国道45号線にある板金屋付近で国道45号線と接続する。三陸自動車道と一体で整備することにより工事量を減らすこと考えている。
- ・道路幅は、1車線3m×2車線。これに幅2.5m程度の歩道を付ける予定である。
- ・伊里前地区から西光寺に向かうには、車は国道45号線から県道を経由し、大きく迂回して向かうルートとなる。自転車、歩行者は、JRの下を通れるよう整備を行う。

3. 質問とその回答

意見交換を通じて挙げられた質問から5点について、気仙沼土木事務所、南三陸町建設課よりご回答頂きました。

- ① まちなかと西光寺のアクセスを良くできないか?
⇒ JRと国道45号線が隣接、並行する場所に県道を踏切で交差させようとすると、今の制度の中では交差点協議が成立しないという限界がある。(宮城県気仙沼土木事務所による回答)
- ② 県道町向弘川線を、現道に沿って最短距離でつなげて復旧することはできないのか?
⇒ 伊里前川を斜めに渡って国道につなぐため、橋の長さが長くなりコスト的に難しくなる。(宮城県気仙沼土木事務所による回答)
- ③ 白山橋はどうなるのか?
⇒ 河川の部署で高さを上げて復旧する計画がある。(宮城県気仙沼土木事務所による回答)
- ④ 漁港や寄木地区への道・橋はどうなるのか?
⇒ 国道の高さや構造を調整中であり、まだ決定していないためまだ示せない。寄木橋の場所に幅を広げた橋をかけたいと考えている。橋を渡った場所から漁港への道筋は検討中である。この問題については、3月に説明会を予定している。(南三陸町役場建設課長による回答)



2. 住民同士での意見交換

ご参加頂いた住民の皆さんで、伊里前地区の道路についてについて、意見交換を行いました。意見が出しやすいよう、各テーブルには伊里前地区の現在の道路地図を置き、自由に意見交換を頂きました。その内容は下記の通りです。



- 【道路全般について】**
- 道路が1本だと災害時に混雑する。
 - トンネルの補強も考えた方が良い。
 - 子供が一人で歩ける安全な道にしてほしい。
 - 通学路を整備してほしい。
 - 高台移転先と漁港をつなぐ道が必要である。

- 【県道の位置について】**
- 伊里前のまちなかに町向弘川線を作してほしい。
 - 被災当時に利用したグリーンロードを活用できないのか。
 - JRのトンネルを補強して西光寺に近い場所に県道を通すべきだ。

- 【西光寺への道について】**
- 葬儀の時、行列を組んでお寺に行けない。
 - お寺が孤立する。
 - お寺までのアクセス道路を工夫して作してほしい。
 - 車も通れる道で国道とつなげてほしい。

- 【国道・鉄道について】**
- 国道の高さは何mなのか?
 - 国道から伊里前漁港に行けるようにしてほしい。
 - 柞沢地区では浸水域でも国道の嵩上げをしないのに何故伊里前地区では嵩上げするのか。
 - 国道45号線は海岸沿いでなく高台を通せばよい。
 - 国道45号線を嵩上げしなければ県道も設置しやすい。
 - 鉄道の高さは何mなのか?
 - 鉄道の上に道路を作っても良いのではないのか。
 - 鉄道が確定していないのにそれを前提にするのはおかしい。
 - 代替バスに乗っているのは運転手だけだ。
 - JRは移動できないのか? JRと協議が必要ではないか?
 - JRに踏切をつけて車が通れるようにしてほしい。

- 【橋について】**
- 白山橋はどうなるのか?
 - 西光寺前の橋はどうなるのか?
 - 西光寺に向かう農道の橋についても知りたい。
 - 田んぼにかかる橋がほしい。
 - 今まであった橋を戻してほしい。
 - 伊里前橋、寄木橋、うたちゃん橋はどうなるのか?
 - 橋はフラットなトラックも通れるものにしてほしい。

- 【河川堤防について】**
- 住まない土地に高さ8.7mは不要だ。
 - 河川堤防の高さを6m程度にしてほしい。
 - 堤防の上を利用したい。
 - 河川堤防の法面を埋めれば道路を作れるのではないのか。
 - 堤防の上面を4mより広くしてほしい。
 - 堤防の上で車がすれ違えるようにすべきである。
 - 県道は防潮堤とセットなのか?
 - 8.7mの防潮堤、河川堤防を前提にすると住みよいまちづくりは難しい、不可能だという結論になった。

- 【漁港への道について】**
- 伊里前漁港に行くのにどのよう8.7mの防潮堤を越えるのか?
 - 伊里前漁港はどうなるのか?
 - トラックが通れる幅の道が必要である。
 - 活魚運搬用のトラックも通れる道路を漁港に通してほしい。
 - 漁港に行く道路はどうなるのか?
 - 避難港である伊里前漁港から安全に避難できる道路がないのはおかしい。
 - 伊里前漁港に行く道路、橋が必要だ。

- 【寄木への道・橋について】**
- 寄木地区からの道を国道につなげてほしい。
 - 県道と寄木をつなぐ道をなくされては困る。
 - 寄木に行く道路はどうなるのか?
 - 寄木へのアクセスは?
 - 寄木から伊里前への橋が最低1本は必要だ。

- 【進め方について】**
- 流動的なことが多く論じるのが難しい。
 - どの手順で話が進んでいるのかわからない。
 - 伊里前だけでなく歌津全体のつながりを考えてほしい。
 - 堤防が8.7mであることに基づいて作られた計画であることがおかしい。
 - お金も時間もかかる方法ではなく、既にある道路を活用して安全に復興させるべきである。
 - 防潮堤、河川堤防を前提に議論する前に、住民の意向を踏まえて1から案を組んでいくべきである。
 - ふるさとの魅力が何で、いかに残していくのかを考えないといけない。